

平成28年度

# 当初予算の概要

～『未来につなぐ安全安心・安定・地域活力創出予算』を編成～

## 一般会計 518億4千万円

(前年度比3.2%増)

### 当初予算の編成方針

国は、経済・財政再生計画の初年度である平成28年度において、「デフレ脱却・経済再生」への取り組みを加速させるとともに、歳出改革を着実に推進していくとしています。

これを踏まえ、本市においても、引き続き「財政運営プログラム」による健全な行財政運営に努め、重要な課題に対して、積極的な施策展開を図っていく必要があります。

### 今年度予算の特徴

本市が直面する人口減少、少子・高齢化といった深刻な課題に対し、昨年度策定した「まち・ひと・しごと創生法」に基づく総合戦略に掲げる事業を最優先事業と位置づけ、地方創生に向けた好循環を生み出せるように予算を確保しました。

また、昨年度に引き続き、総合計画の基本理念である「安全・安心」「活力」「共生」「行財政」に基づき、将来都市像「人と地域が躍動し 安心と活力のあるまち 薩摩川内」の実現に向けて、基本方針の計画的な展開を図れるよう、予算編成を行いました。

### 基本方針

① 健やかに生き生きと暮らせるまちづくり(健康・福祉)

② 快適で魅力的な住み続けたいまちづくり(生活環境)

③ 地域の豊かな個性で活力を生み出すまちづくり(産業振興)

④ 安全性と利便性の質を高めるまちづくり(社会基盤)

⑤ 次世代を担う人と文化を育むまちづくり(教育文化)

⑥ 市民みんなで考え、行動するまちづくり(地域経営)

### 主な事業の紹介

① 健やかに生き生きと暮らせるまちづくり(健康・福祉)(88事業)  
414億4682万円

▼川内看護専門学校運営支援事業

#### 新規事業

安定的な看護師の確保を図るため、北薩地域専門学校初の全日制レギュラーコースを新設する川内看護専門学校への運営補助

▼高度医療機器整備補助金

市民の健康維持と高度医療の受診の確保に資するため、本市の中核的医療施設の機能強化を図るもの

▼感染症予防事業

#### 拡充

ロタウイルスやおたふくなどの予防接種費用を新たに助成

▼児童福祉施設整備事業

待機児童解消のため、認可保育所

などの定員増に必要な増改築の補助

▼保育所運営費

#### 拡充

3人以上の子ども(18歳未満)がいる世帯に対する保育料を軽減

▼子ども医療費助成事業

#### 拡充

医療費無償化の対象児を、15歳未満から18歳未満に拡充

など

② 快適で魅力的な住み続けたいまちづくり(生活環境)(38事業)  
16億2926万円

▼おおつな心の交通安全プロジェクト事業

#### 新規事業

鹿児島国体開催予定の平成32年までに、交通事故死亡者数ゼロを目指す啓発活動を実施

③ おはようから

④ おやすみまで

⑤ 常に交通安全を

意識して

⑥ 無くそう

「交通事故」

▼防犯カメラ設置事業

安全・安心なまちづくりの推進および犯罪から市民を守るため、市内主要交差点などに防犯カメラを設置



▼エネルギーインフラ導入調査事業

新規事業

平常時・災害時に官民一体となつて、エネルギーインフラを有効活用できるシステムの検討・構築

▼向田地区かわまちづくり事業

川内川向田地区の河川空間を、市民の憩いの場やまちおこしのため、「まちなかのふれあい空間」として公園を整備

など

③地域の豊かな個性で活力を生み出すまちづくり（産業振興）

〈87事業〉

17億6136万円

▼農商工連携促進事業補助金

新規事業

農林漁業者と商工業者などが密に連携し、新たな商品の開発などを行う取り組みに対する補助



▼産業支援センター運営事業

新規事業

市内企業や創業予定者などの課題解決や産学官金連携による取り組み

など、企業・団体・創業者などが求める多様なサポートをワンストップかつスピーディに対応し、企業・創業支援するための産業支援センターを運営

▼創業支援事業

新規事業

創業による雇用の創出と地域活性化を推進するため、創業初期段階の経費の一部を補助するもの

▼中小企業人材育成支援事業

新規事業

企業の人材育成や経営の安定・強化を図るため、市内事業所が業務上必要とする国家資格の取得経費の一部を補助するもの

など

④安全性と利便性の質を高めるまちづくり（社会基盤）〈50事業〉

56億3479万円

▼総合防災センター施設整備事業

災害発生時に迅速かつ的確な対応を行うため、情報の収集・発信機能を有する常設の災害対策室や、放射線防護機能を持つ避難所を備えた総合防災センターを整備

▼コンベンション施設整備事業（基金造成）

民間事業を含めた「まちのにぎわい創出」を図るため、川内駅東口市有地へのコンベンション施設の整備

に向けて、財源を確保するための基金（12・5億円）を創設

▼クルーズトレイン「ななつ星in九州」おもてなし事業

新規事業

本市の魅力を発信し、肥薩おれんじ鉄道や沿線地域の活性化を図るため、関係団体および地域が一体となつて行うおもてなしを支援



▼天辰第二地区土地区画整理事業

新規事業

川内川市街部改修とともに都市基盤整備を行い、機能的で住み心地のよい新たな市街地を創出

など

⑤次世代を担う人と文化を育むまちづくり（教育文化）〈43事業〉

14億9948万円

▼大学就学支援事業

新規事業

市内居住者の市内大学への進学を推進するため、入学金相当額を補助  
▼東郷地域小中一貫校整備事業  
施設一体型の小中一貫教育を推進

するため、東郷地域に小中一貫校を整備（造成工事など）

▼小学校校舎外壁等改修事業

新規事業

児童および教職員の安全の確保と教育環境の向上を図るため、老朽化した校舎の外壁などを改修



など

⑥市民みんなで考え、行動するまちづくり（地域経営）〈29事業〉

9億6884万円

▼出会い支援事業

新規事業

結婚のための活動を支援するイベントの主催者に対する補助  
▼ふるさと納税PR促進事業

拡充

ふるさと納税者に対して、特産品の返礼を行うことにより、特産品のPRによる販売の促進ならびにいただいた寄附をコミュニティ支援や子育て支援などの施策に活用するもの

など

## 用語解説

■**自主財源**: 地方公共団体が自主的に収入できるお金

■**依存財源**: 国や県から定められた額が交付されたり、割り当てられたりするお金

■**国庫支出金**: 特定の事業に対して、国から交付されるお金

■**市債**: 公共事業などの財源として、国などから借りるお金

■**扶助費**: 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基いた経費

■**義務的経費**: 支出が義務付けられ、任意に削減できない経費

■**投資的経費**: 支出の効果が資本形成に向けられ、道路建設や学校建設など将来に残るものに支出される経費

■**繰出金**: 一般会計と特別会計または特別会計相互間において支出される経費

■**民生費**: 児童、高齢者、障害者の福祉推進などの経費

■**衛生費**: 保健衛生や環境対策、ごみ処理対策などの経費

■**総務費**: 総務管理、財産管理など、総務的な経費

■**公債費**: これまでの施設整備などで借りたお金の返済のための経費

■**土木費**: 道路、公園、市営住宅の整備などの経費

■**教育費**: 学校の管理運営や施設整備および生涯学習を推進するための経費

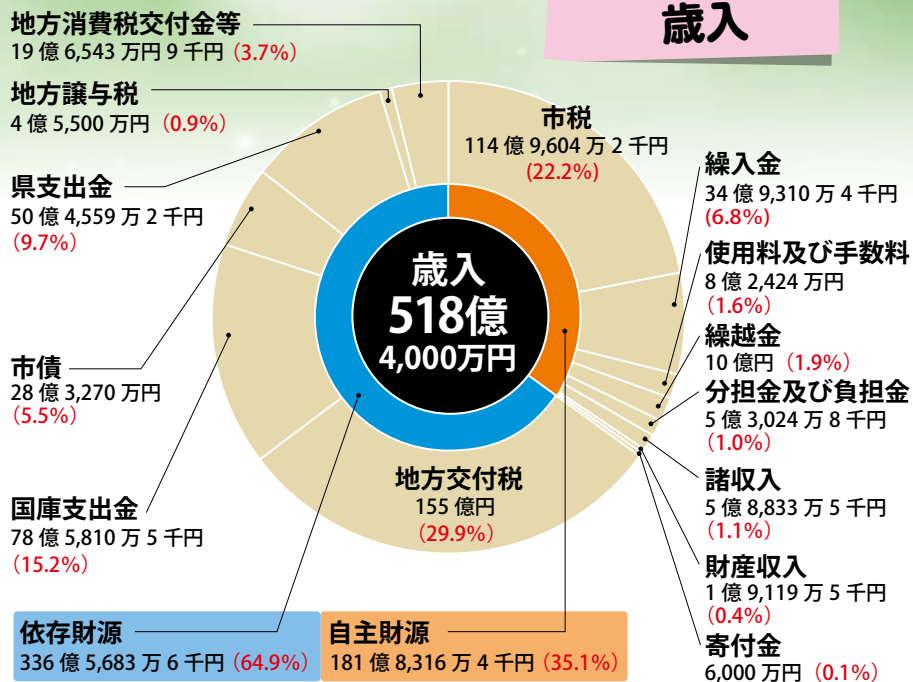
■**農林水産業費**: 農林漁業の振興のための経費

■**消防費**: 消防・救急活動などのための経費

■**商工費**: 商工業や観光振興のための経費

■**災害復旧費**: 災害被害の復旧に要する経費

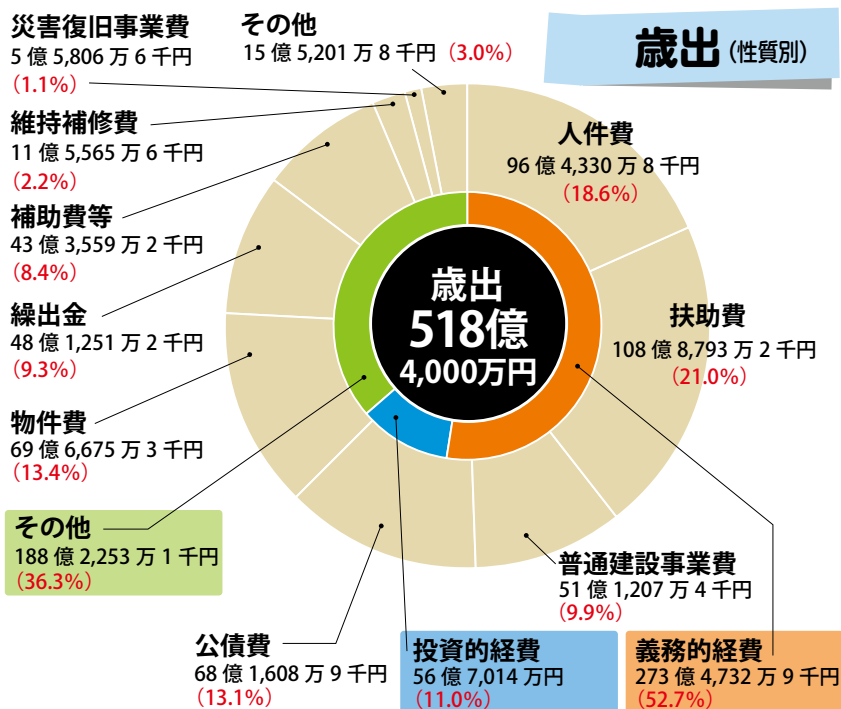
## 歳入



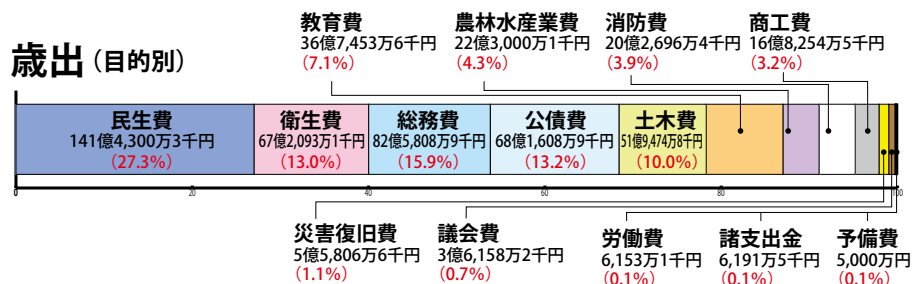
### 市税の内訳

固定資産税 63億8,182万円 (55.5%)	市民税(個人分) 31億6,229万2千円 (27.5%)	市民税(法人分) 6億5,148万1千円 (5.7%)
市たばこ税 5億9,083万6千円 (5.1%)	使用済核燃料税 3億9,225万円 (3.4%)	軽自動車税 3億435万8千円 (2.7%)
		その他 1,300万5千円 (0.1%)

## 歳出 (性質別)



### 歳出 (目的別)





# 平成28年度当初予算における

## 財政運営プログラム

### 進捗状況

＊【】内の数値は、プログラム策定時(平成24年度)の基礎数値と比較したものです。

#### 1 人件費の削減

【約6・7億円削減】

当初予算における職員数は、平成24年度から100人の削減となっています。

＊平成27年度からは24人の削減

#### 2 施設の統廃合

【約2・0億円削減】

基本方針に従い、里交流センター、甕島館や東郷温泉ゆったり館などの無償譲渡、入来高齢者福祉センターや蘭牟田池自然公園キャンプ場の廃止などを実施しました。



#### 3 普通建設事業費と

#### 維持補修費の規模見直し

優先的にめどをつける事業のうち、消防庁舎建設事業など完了した10事業以外については、引き続き取り組みます。

#### 4 事業見直し

【約4・4億円削減】

＊事業数は平成25年度からの累計

#### (1) 本プログラムどおり着手した事業

112事業

#### 《主な事業》

▼社会教育委員管理経費

条例改正により、社会教育委員の定員を見直し

▼簡易水道事業特別会計繰出金【削減】

本土地域の簡易水道を上水道に統合することにより削減

#### (2) 着手年度を前倒しした事業

45事業

#### 《主な事業》

▼松くい虫駆除事業【削減】

処理方法および処理面積の見直しによる「Ⅲ期実施予定からの前倒し」

▼成人式開催事業【削減】

一部・二部構成を統合したことによる「Ⅲ期実施予定からの前倒し」

#### 5 成長戦略の展開

#### ～総合戦略へ継承～

＊総合戦略と位置付けた事業

49事業 約16・3億円

#### 《分野別の主な事業》

(1) 生き生きと働くまち薩摩川内

～薩摩川内で働く～【雇用】

▼六次産業化支援事業補助金

▼産業支援センター運営事業

▼新卒者等就労促進事業

(2) 暮らしたいまち薩摩川内

～薩摩川内で暮らす～【移定住】

▼地域おこし対策事業

▼定住支援センター運営事業

(3) 子育てするなら薩摩川内

～薩摩川内で育てる～【結婚・出産・子育て】

▼子ども医療費助成事業

▼保育所運営事業(多子世帯の保育料負担の軽減)

▼児童福祉施設整備事業

(4) 豊かに暮らす薩摩川内

～薩摩川内をつくる～【地域づくり】

▼地球にやさしい環境整備事業

▼災害情報共有システム構築事業

▼地区コミュニティ活性化事業

## 用語解説

### 財政運営プログラム

地方交付税の合併特例措置が終了する平成32年度までの、本市の財政運営の方向性、経費削減の手法などについて示したもの

### 普通建設事業費

道路、橋梁、農林水産施設、住宅、学校、庁舎など公共用、または公共施設の新増設・改良などを行う建設事業に要する経費

### 維持補修費

道路や公共施設などの維持管理などに要する経費

### 事業見直し

施策・改善・廃止などの総合的な評価に基づき、次の3期に分けて段階的に見直しを行うもの

- Ⅰ期：平成24～26年度
- Ⅱ期：平成27～29年度
- Ⅲ期：平成30～32年度

### 総合戦略

厳しい財政状況の中で、人口減少、地域の衰退などといった課題に対し、集中的・効果的に展開する施策を定めたもの

## ●一般会計の年度末市債残高の推移

(単位：億円)

区 分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
残 高	617.1	587.3	548.2	528.2	507.3	500.2	495.7	483.5	471.9	491.3	467.1	431.6

## ●全会計の年度末市債残高の推移 (単位：億円)

区 分	H17	H21	H28 (当初予算ベース)
残 高	845.4	734.2	577.1

## ●年度末基金残高の推移

(単位：億円)

区 分	H17	H21	H28(当初予算ベース)
残 高	115.6	123.9	173.2

\*特定目的基金(一般会計分)を計上

## ●一時借入金の状況

平成 28 年3月31日現在

会計名称	一時借入金残高	借入期間
一般会計	0円	—

\* 年度末の支払集中に対応するための借入金

## ●特別会計 当初予算額および市債残高

特別会計名称	平成 28 年度当初予算額	市債(借入金)の現在高 (平成 28 年 3 月 31 日現在)
簡易水道事業	3 億 7,198 万円	9 億 5,032 万 7 千円
温泉給湯事業	8,934 万円	—
公共下水道事業	7 億 516 万円	48 億 1,083 万 2 千円
農業集落排水事業	1 億 8,805 万円	11 億 5,976 万 7 千円
漁業集落排水事業	7,675 万円	5 億 9,821 万 1 千円
浄化槽事業	1,606 万円	3,895 万 6 千円
天辰第一地区土地区画整理事業	6 億 6,627 万円	18 億 5,675 万 円
天辰第二地区土地区画整理事業	7,060 万円	—
入来温泉場地区土地区画整理事業	4 億 5,755 万円	6 億 8,151 万 8 千円
国民健康保険事業	140 億 5,700 万円	—
国民健康保険直営診療施設勘定	10 億 800 万円	8,977 万 5 千円
介護保険事業	107 億 157 万円	—
後期高齢者医療事業	11 億 4,972 万円	—
13 特別会計の合計	295 億 5,805 万円	101 億 8,613 万 6 千円

## ●公営企業会計 当初予算額および企業債残高

公営企業会計名称				平成 28 年度当初予算額	企業債(借入金)の現在高 (平成 28 年 3 月 31 日現在)
水道事業	上水道の 管理運営	収益的収支 *日々の営業活動に 必要な経費	収入 (水道料金など)	18 億 1,802 万 9 千円	50 億 6,340 万 5 千円
			支出	15 億 9,733 万 1 千円	
		資本的収支 *施設の改良などに 必要な経費	収入 (出資金など)	3 億 4,910 万 円	
			支出	12 億 2,675 万 2 千円	

● 市有財産の現在高

財産区分		平成 26 年度末現在高	前年度比較増減
土 地		9,564 万 4,659㎡	15 万 9,635㎡
	山 林	7,976 万 7,191㎡	0㎡
	山林以外の土地	1,587 万 7,468㎡	15 万 9,635㎡
建 物		65 万 6,032㎡	6,814㎡
有価証券(肥薩おれんじ鉄道株券など)		1 億 257 万 6,650 円	0 円
出資による権利 (市民まちづくり公社出捐金、漁業信用基金協会出資金など)		2 億 1,944 万 5,000 円	65 万円
債 権(市民税、住宅新築資金等貸付金など)		6 億 440 万 2,481 円	△ 3,224 万 6,257 円
基 金(財政調整基金、減債基金など)		216 億 7,220 万 2,490 円	41 億 847 万 7,829 円

● 平成 27 年度歳入歳出予算の執行状況

○一般会計（予算の中心となる基本的な一般的な会計） 平成 28 年3月31日現在

歳 入				歳 出			
区 分	予算現額	予算執行状況		区 分	予算現額	予算執行状況	
		下半期	上・下半期計			下半期	上・下半期計
市 税	116 億 1,431 万 6 千円	39.2%	104.2%	総 務 費	92 億 5,011 万 4 千円	59.5%	89.4%
地方交付税	173 億 2,950 万 9 千円	35.4%	100.0%	民 生 費	149 億 913 万 5 千円	42.2%	77.6%
国庫支出金	81 億 8,351 万 2 千円	40.4%	68.2%	衛 生 費	65 億 8,321 万 円	47.8%	74.7%
県 支 出 金	45 億 5,546 万 2 千円	71.7%	81.0%	土 木 費	49 億 8,241 万 3 千円	40.2%	59.4%
繰 入 金	31 億 8,238 万 8 千円	97.4%	97.4%	教 育 費	43 億 5,448 万 3 千円	48.4%	84.4%
市 債	37 億 9,800 万 円	51.2%	51.2%	公 債 費	72 億 9,046 万 7 千円	49.6%	100.0%
そ の 他	70 億 4,352 万 4 千円	34.7%	101.0%	そ の 他	83 億 3,688 万 9 千円	51.2%	78.4%
歳入合計	557 億 671 万 1 千円	44.5%	91.3%	歳出合計	557 億 671 万 1 千円	48.4%	81.2%

○特別会計（特定の事業を行う場合や特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区別して経理する会計） 平成 28 年3月31日現在

会計名	区分	予算現額	歳入予算執行率		歳出予算執行率	
			下半期	上・下半期計	下半期	上・下半期計
簡易水道事業		5 億 9,411 万 2 千円	23.4%	58.0%	47.7%	84.6%
温泉給湯事業		1 億 4,325 万 1 千円	60.6%	83.9%	23.9%	46.1%
公共下水道事業		5 億 2,765 万 7 千円	14.0%	26.1%	49.3%	83.3%
農業集落排水事業		2 億 390 万 6 千円	12.4%	24.0%	50.5%	95.1%
漁業集落排水事業		7,432 万 7 千円	13.1%	25.2%	45.9%	90.3%
浄化槽事業		1,701 万 円	22.4%	44.8%	43.5%	85.3%
天辰第一地区土地区画整理事業		6 億 8,512 万 7 千円	7.0%	7.6%	47.3%	76.7%
川内駅周辺地区土地区画整理事業清算事務		1 万 9 千円	0.0%	97.8%	97.8%	97.8%
入来温泉場地区土地区画整理事業		3 億 9,007 万 4 千円	0.2%	0.5%	53.6%	74.7%
国民健康保険事業		140 億 6,573 万 2 千円	42.2%	83.0%	51.7%	93.0%
国民健康保険直営診療施設勘定		9 億 3,798 万 円	36.4%	61.3%	49.0%	91.5%
介護保険事業		109 億 1,961 万 5 千円	39.5%	80.6%	45.6%	83.7%
後期高齢者医療事業		11 億 1,689 万 5 千円	68.7%	99.7%	68.1%	99.2%
計		296 億 7,570 万 5 千円	39.6%	77.2%	49.6%	88.6%

# 薩摩川内市の平成28年度家計簿

本市一般会計予算（総額518億4千万円）を、一般の家庭で例えたらどのような暮らしぶりになるのでしょうか。

市税115億円を、給料月収10万円に換算した場合の金額を記載しています。

しゅうにゅう

## 収入

### 本市の予算を家庭での家計簿に例えると...

家計簿の区分 (実際の歳入予算の区分)	平成28年度家計の収入 (%)	実際の予算額
給料(市税)	10万円(22.2%)	115億円
パート収入 (負担金・使用料・諸収入・財産収入など)	1万9千円(4.2%)	21億9千万円
親・兄弟からの援助 (地方交付税・国県支出金・各種交付金など)	26万8千円(59.4%)	308億3千万円
預金の引き出し(繰入金)	3万円(6.7%)	34億9千万円
ローン(市債)	2万5千円(5.5%)	28億3千万円
繰越金	9千円(2.0%)	10億円
合計	45万1千円(100.0%)	518億4千万円

預金残高 201万4千円

## 支出

家計簿の区分 (実際の歳出予算の区分)	平成28年度家計の支出 (%)	実際の予算額
食費・光熱水費・日用品費などの 日常生活費(人件費・物件費)	14万4千円(32.0%)	166億1千万円
ローン返済(公債費)	5万9千円(13.1%)	68億2千万円
医療費・保育料(扶助費)	9万5千円(21.0%)	108億9千万円
子どもへ仕送り(繰出金)	4万2千円(9.3%)	48億1千万円
電化製品購入・家の増改築修繕 (普通建設事業費・災害復旧事業費)	4万9千円(11.0%)	56億7千万円
保険料・自治会費など(補助費等)	3万8千円(8.4%)	43億3千万円
電化製品の修繕(維持補修費)	1万円(2.2%)	11億6千万円
預金(積立金)	1万4千円(3.0%)	15億5千万円
合計	45万1千円(100.0%)	518億4千万円

ローン残高 487万6千円